

# 進路だより 第1号 守口支援学校 進路指導部 令和3年7月19日

日頃より、進路指導部の活動にご理解とご協力いただきまして感謝申し上げます。

今年度も、新型コロナウイルス感染拡大防止として、進路関係行事をいくつか中止、延期することとなりましたが、個別の進路指導については、担任と連携のもと懇談等を通じて児童生徒と保護者の願いをふまえて変わりなくすすめていきます。

## 【進路関係行事の中止について】

- 福祉懇談会（高等部3年生保護者対象）
  - 春の同窓会
- } 中止

今後行事の日程に変更が必要な時は適時お知らせさせていただきます。

## 【PTA 施設見学会】

6月から7月にかけて守口市、門真市の卒業後に利用する福祉サービス提供されている8ヶ所の事業所の見学を設定しました。新型コロナ感染拡大防止のため定員を1部5名の2部制で人数制限をして実施させていただきました。見学の流れは、事業所の方から概要の説明をしていただき、施設設備や利用者の方々の取り組みの様子を見学し、最後は質疑応答となります。質疑応答では、実際に利用した時を想定した質問が出ていました。

「ワーク・サポート・センター」（就労継続支援B型）は、3月に開所されたばかりの新しい事業所です。支援員の方は老人介護に携わられていて、そのノウハウを障がいのある方にも提供し喜んでいただきたいという想いで開所された経緯や個々の障がいや体調に合わせたプログラムについての説明をしていただきました。「Smile（スマイル）」（生活介護）では、それぞれのペースに合わせた軽作業の見学や散歩や体操など体を動かすプログラムの説明を聞きました。利用されている保護者の方とも連携を取り、笑顔で利用されている利用者の方の姿が印象的でした。「就労継続支援ひかり」（A型）では、軽作業の様子を見学し、洗車の取り組みの説明を聞きました。新たな取り組みで利用者の方がアクセサリを作り販売されているお話を聞きました。「守口障害者支援センターひだまり」（B型・生活介護）では、プログラムや行事の話を聞きました。支援員の方が理学療法士で運動指導の相談もでき、入浴の支援もあり入浴設備の見学もさせていただきました。「ステラ守口」（A型）では、福祉と企業の両面を持つA型事業所の説明を聞き、集中して軽作業に取り組まれている様子を見学させていただきながら説明を聞きました。「ぷらす守口市駅前」（就労移行）では、まずは「就労移行支援とは？」と丁寧な説明を聞き、就職に向けての3つの取り組みについて、「基本的なビジネスマナー」「コミュニケーション（グループディスカッション）」「仕事に必要な履歴書の書き方など」があると聞きました。利用者さんは一人ひとりパソコンに向かい、静かに作業されていて、会社のオフィスにいるような雰囲気でした。ここでは、PC資格の試験をこの場所で受験でき、受験料の補助もあるということで、試験会場に行って緊張することはなく資格取得にチャレンジできると話

されていました。見学者からは自身のお子様をイメージしての質問が多くあり、活発な質疑応答が行えました。

「就労継続支援ようき・すなお第1」(B型)は、守口市内で事業所を始められて30年以上経つ、歴史ある事業所です。軽作業や張り子に取り組まれている様子を見学しました。働くことと余暇を楽しむことを大切に様々なイベントへの参加や旅行等の行事に取り組まれている話を聞きました。「わーくすあさがお」(B型・生活介護)は、2019年11月に開所された新しい事業所です。テナントビルの2階にあり、縦長の広いスペースを生かして作業されています。親会社がパソコン関連で、中古パソコンを清掃したり、バージョンアップをして「メルカリ」などで販売されたりしています。作業工程は、わかりやすい手順書を見ながら教えていただけるので、生活介護での利用の方もできる作業に取り組まれているそうです。ネット販売なので、売り上げによって工賃は左右されるそうですが、月額2万円に見学された方々も驚かれています。今は新たにレーザーでイラストを描く木製キーホルダーなども作られています。興味のある方は事業所名で検索してみてください。

施設見学会で、実際に事業所を訪れることでそれぞれの事業所の特徴や立地環境、取り組みを感じる良い機会だと思います。また、見学終了後に引率教員と参加保護者の方とお話しさせていただく時間は保護者の方の思いを聞かせていただく良い時間になっています。秋には保護者からの希望をもとに引き続き見学会を実施する予定です。お時間がありましたら、参加していただければと思います。

#### 【見学の感想】

- ・新しくできた事業所で、あまり情報はありませんでした。とても丁寧に説明していただき、たくさん質問にも答えていただけてよかったです。
- ・利用者さんのことを何より1番に考えて思ってくれていることがとても伝わり、心配な親にとっては安心できるお話が聞けました。
- ・B型と生活介護どちらもされている事業所だから魅力的だと思いました。生活介護の方は入浴の支援もあるので良いと思いました。
- ・施設の方が仕事に対して、きっちりと指導されている感じが温かみがあり頼れる感じがした。壁に「小さなことでも相談してください」という紙が貼ってあり安心できる感じがしました。

#### 【中学部3年生 寝屋川支援学校高等部見学】

7月2日(金)、寝屋川支援学校高等部の授業見学に行ってきました。大きな学校で階段の昇り降りや廊下を歩いているうちに、「迷ってしまいそう」と言う生徒もいました。到着後は2グループに分かれて高等部の授業を見学しました。高等部は実習期間ということもあり、外部から委託されている、ロッカーの扉の部品製作、シャボン玉液の容器、醤油の容器などのバリ取りをしていました。エプロン、手袋、帽子をかぶり、ほこりが入らないように注意していました。守口支援学校の中学部を卒業した先輩たちが丁寧に授業の説明をしてくれました。

先輩の頑張っている様子を見て、高等部への進学に対する期待が高まった様子でした。

## 【中学部 3 年生 施設見学】

7月9日(金)「生活」の時間に2グループに分かれて「グレース工房」「ジェイ・エス ステージ」へ事業所見学に行ってきました。

「グレース工房」では、理科の実験キットの袋詰め作業を見学しました。その後、花屋さんのパンフレットと花用の薬剤が入った小袋を透明ビニールの袋に入れる作業を体験しました。説明をしっかりと聞いて、小袋はビニール袋の右隅に置くように、またビニールを破らないように注意しながら丁寧に作業しました。ここで作った製品がそのまま商品になることも学び、「仕事」をイメージすることができました。

「ジェイ・エス ステージ」では、ワークショップの体験と、自立課題の見学をしました。ワークショップでは、ダンスをしたり鈴を振ったり施設の方と一緒に楽しむことができました。

お礼の挨拶も声をそろえて言うことができました。短い時間でしたが、高等部卒業後の進路のイメージが少し湧いたと思います。

## 【守口・門真市福祉施設案内冊子について】

7月下旬に、守口、門真市内の日中活動系の福祉事業所の情報をまとめた施設案内冊子第12版を全校配布しました。今年度も、PTAと学校から予算をいただき、外部へ発注し作成いたしました。守口市で3施設、門真市で2施設の新規事業所が追加で掲載されています。

今後も日々の地域連携の中で正確かつ迅速な情報提供に努めたいと思っています。

保護者の皆様も、この冊子をご有効活用下さい。

## 【高等部 校内実習】

高等部では6月14日(月)～6月25日(金)に校内実習が行われました。作業は木工・窯業・紙工・縫製・S4の5種目に分かれ、それぞれの班で協力して取り組みました。木工では丸座・四角・ベンチタイプの3種類の椅子、窯業では小皿とペーパーウエイト、縫製では靴やコースター、ティッシュケース等、紙工ではメモ帳とノートを作製し、S4ではターメリック染めをしました。ある班では作業班の歌を作ったり、朝と昼にはラジオ体操を取り入れたりするなど、実際に会社で取り組まれているようなことも体験できました。

昨年度は校内実習が中止だったため、1・2年生にとって初めての校内実習でした。丸一日の作業が続いて疲れもありましたが、みなさん最後までよく頑張りました。働くには日々の体力づくりが大切ということが実感できました。3年生にとっては2年ぶりの校内実習で、今年度は最高学年としての参加でした。不安や緊張もあったと思いますが、一所懸命に後輩を引っ張ってくれました。製品作りの下準備を進んで担当する先輩の姿がとても印象的でした。後輩にとってとても良いお手本になっていました。

最終日には校内実習報告会が行われました。実習で作製した製品を映像や写真を使って発表しました。発表ごとに大きな拍手が起こり、みんなで実習の成果や互いの頑張りを認め合いました。製品即売会は残念ながら中止となってしまいましたが、作製した製品は作品展で展示や販売予定です。

